

一ヶ月、100円を  
三重の人権教育推進のためにお願いします。

年会費 一口 1,200円



- ① 1月～3月に入会された方は、会員特典は入会時から適用しますが、会費納入は翌年度からとなります。
- ② 入会後は、退会のお申し出がない限り、毎年自動継続となります。
- ③ 会費につきまして、公立学校の教職員の方は、教文システムによる自動引き落としもお選びいただけます。教文システムによる自動引き落とし以外の方は、銀行振り込み、または事務局へ現金でお届けいただく形での納入となります。
- ④ 入会申込書等関係書類は、三重県人教事務局・各地同研事務局にお問い合わせいただくか、三重県人教ホームページよりダウンロードしてください。

### 個人会員に入会していただくこと…

- 夏季・冬季に開催する会員研修会にご参加いただけます。
- 三重県人教で取り扱っている書籍を会員価格でご購入いただけます。
- 会報誌「夢のとびら」で人権教育・人権保育に関する情報をお届けします。

◇すでにご加入のみなさんへ

引き続きご支援いただくとともに、増口にご協力いただきますようお願いいたします。

(2口会員には、機関紙「みちしるべ」を無料で毎月お届けします)

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会 事務局

〒514-0113

三重県津市一身田大古曾 693-1 三重県人権センター内

Tel 059-233-5530 Fax 059-233-5533

URL <http://www.sandokyo.jp>

E-mail [sandokyo@poem.ocn.ne.jp](mailto:sandokyo@poem.ocn.ne.jp)

Mie Human Rights Educators' Association

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会

2017 年度版

# 入会のご案内

一人ひとりの子どもの  
自己実現をめざして



人権教育をすべての教育活動の基本に！  
三重の人権教育をみなさんと

公益社団法人 三重県人権教育研究協議会の歩み

- 1953年 三重県同和教育研究会結成
- 1967年 第1回三重県同和教育研究大会（松阪市）
- 1975年 機関紙「三重の同和教育」創刊
- 1983年 三重県解放保育研究会結成
- 1985年 第1回三重県解放保育研究集会
- 2000年 県内69全市町村（当時）の加盟が実現
- 2001年 研究大会名称を「三重県人権・同和教育研究大会」と変更
- 2002年 組織名称を「三重県人権・同和教育研究協議会」と改称
- 2003年 三同教結成50周年
- 2005年 社団法人の認可を受け、組織名称を「三重県人権教育研究協議会」と改称
- 2012年4月 公益社団法人として認定
- 2013年 三重県人教60周年
- 2017年 第51回三重県人権・同和教育研究大会（桑員地区にて開催予定）



## こんな事業をしています!!



### 三重県人権・同和教育研究大会

◆県内各地の実践レポートに基づいて実践報告・討議を行います。

☆2016 年度分科会

人権確立をめざす教育・保育の創造

[子どもの育ちと子育て支援][すべての教育活動の基盤としての仲間づくり][人権・部落問題学習]

[共に生き、共に学ぶ教育・保育][子どもの自主的な活動][進路・学力保障]

人権確立をめざすまちづくり

[地域の教育力と学習・啓発活動][生活要求と地域活動(文化創造・識字運動等)][地域における子どもの活動]

### 会員研修会

◆個人会員を対象にした研修会を夏季・冬季に企画し、開催します。

☆2016 年度講座(夏季:①~④、冬季:開催しませんでした。)

① やってみませんか? 「多様な性」にかかわる授業

② 同和教育がめざしてきたこと

③ わたしの生きる道 ~外国につながるのある人の人権について考える~

④ 「生きる力」としての学力保障

### 「せいかつ」実践交流会

◆人権教育読本「せいかつ」をはじめとする人権学習教材を使った実践交流を行います。

☆2016 年度 記念講演「授業づくりと人権教育 今とこれから」

~キーワードは「自尊感情」~

園田 雅春 さん

### 人権保育推進支援事業

◆人権保育推進のために実践内容の研究を進めます。

☆2016 年度テーマ ともに育ち合う保育 ~「障がい児共生保育」の視点から考える~

### 人権保育専門研修事業

◆人権保育にかかわる研修講座を県内各地で開催しています。

☆2015 年度 人権保育専門講座テーマ

「多様な性を考える(田中一步さん、近藤孝子さん)」

「一人ひとりを大切にする人権保育の実践とは?(西原美保子さん)」

「造形活動で大切にしたいこと(永淵泰一郎さん)」

「障がいのある子どもとの共生保育とは?(米本俊哉さん)」

「貧困問題からみえてくること(倉石哲也さん)」

「子育て支援・保護者支援のありかたについて(辻由起子さん)」

「外国につながるのある子どもや保護者への支援(田中レオニセさん)」

「各園における人権保育を推進するために(ト田真一郎さん)」(4回の連続講座として開催)

### 所長・園長研修会

◆保育所・保育園・幼稚園・こども園の所長・園長を対象に講演会を開催します。

☆2016 年度 演 題 「養育に困難を抱える保護者への支援」

倉石 哲也 さん

### 豊かな就学前人権教育実践交流会

◆人権保育・教育の実践報告、保護者・地域の現実から出発した実践を交流します。

☆2016 年度 記念講演「育ちをつなぐ、学びをつなぐ」

~乳幼児教育と学校教育を結ぶ実践に向けて~

大寺 和男さん

### 部落問題学習等実践研究事業

◆県内の学校、幼稚園、保育所(園)等における人権学習実践のサポートを行います。

### 機関紙の発行

◆機関紙「みちしるべ」を年間11号発行し、人権教育に関わる情報発信をしています。

### 会報誌の発行

◆会報誌「夢のとびら」を年3回発行し、会員みなさまに情報発信をしています。

☆第33号 色覚に関する「積極的な周知」から考えたいこと

☆第34号 社会の担い手としての主権者意識を高める教育について考えよう

☆第35号 「真に部落差別の解消に資する」部落問題学習をすすめてみましょう

### 講演集録の発行

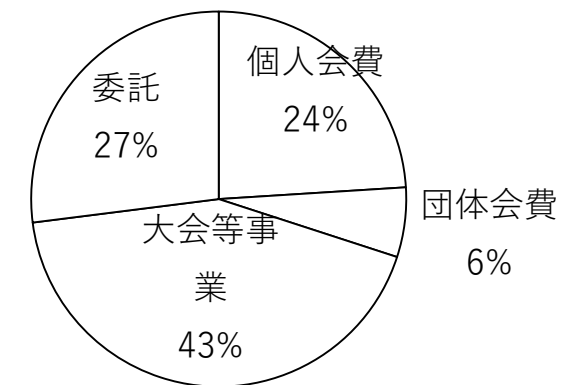
◆講演集録「みちしるべ」を発行し、各種研修会で行われた講演の内容を発信しています。

### 教材、書籍の展示・販売

◆人権保育・人権教育・人権啓発に関する教材・書籍を展示・販売しています。

## 収支の各内訳 (2016年度)

### 収入の内訳



### 支出の内訳

管理費 11%

事業費 89%

○事業費…各種研修会や実践交流会機関紙・会報誌の発行、その他事業運営にかかわる費用

○管理費…通信運搬費、会議費、光熱水費、その他事務局運営にかかわる費用

